



令和2年度 学校訪問を終えて

1月で、本年度の指導主事学校訪問が終了しました。多くの学校で協働の授業づくりが定着し、日常的にも授業について語り合う先生方の様子が分かりました。その熱心な授業づくりによって、子供たちの学習意欲の高まりも感じることができました。

学校訪問の様子をまとめた「令和2年度管内学校教育指導概況報告」を、2月15日付けで各学校に2部ずつ配布いたしましたので、今後の指導の参考にしていただければと思います。

来年度の指導主事学校訪問については、より学校の状況に応じられるようにしていきたいと考えていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

教科指導力向上研修会の様子から③

今年度の教科指導力向上研修会（全9教科）を計画どおり終了することができました。新型コロナウイルス感染症防止と安全対策に細心の注意を払いながら開催し、各会場校にも大変御苦勞をお掛けしたことと思います。御理解と御協力に改めて感謝申し上げます。教科指導の改善に取り組もうとする先生方が管外からも参加し、熱心に授業参観や協議を行いました。どの研修会も大変好評で、授業づくりや教科の課題とその解決に向けて話し合うことのできた貴重な研修会となりました。

今回は、音楽科、国語科、保健体育科の研修会の様子を紹介いたします。

中学校音楽科：丸森町立丸森中学校（11/25）

提供授業：1年「詩と音楽の関わりを感じ取ろう（教材：魔王）」



シューベルトの歌曲「魔王」を題材にした鑑賞の授業でした。音楽を形づくっている要素（音色、強弱、旋律、リズム）に着目させ、楽曲の詩の内容や曲想との関わりを感じ取らせていました。キーワードで聴くポイントを提示するなどの工夫により、生徒は関心を高めるとともに見通しを持って学習に取り組んでいました。

【参加者の感想から】

- ・授業づくりについてきめ細かな配慮がとてすばらしいと思いました。一つ一つの声掛けや教具の準備など、今後自分でも意識していきたい点に気付くことができたので、実践に生かしていきたいです。（中学校）
- ・鑑賞の授業はこんなにも子供の考えを引き出すことができると驚きました。鑑賞のポイントを絞って子供たちに聴かせることや、要素から心情につなげていくことなど、こんな授業ができれば、きっと子供は「楽しい！学んだ！」という気持ちになるだろうと感じました。（小学校）



中学校国語科：大河原町立大河原中学校（12/16）

提供授業：3年「故郷」



小説の読み取りの際に、描写を根拠にして生徒に深く考えさせる授業でした。音読やワークシート、発問の工夫など参観者にとっても学びの多い提供授業となりました。どのような資質・能力を身に付けさせていくのかを単元全体を通して意識して授業づくりを進めていくことも改めて確認できたようでした。



【参加者の感想から】

- 小説の読み取りのポイントをつかむことができました。指示の出し方から授業展開まで、明日すぐに取り入れたいと思えるヒントをいただきました。特に、生徒の考えからまとめに至る流れが参考になりました。（中学校）
- 指導と評価の一体化、新学習指導要領に対応した授業構想・評価規準は今後の参考になるものでした。どんな資質・能力を身に付けさせたいのかを確実に授業者も意識して授業づくりをしていかなければならないと強く感じました。（中学校）

中学校保健体育科：丸森町立丸森中学校（12/17）

提供授業：1年「バレーボール」



アンダーハンドパスやオーバーハンドパスを使って仲間とパスをつなぐことができたことを目指したバレーボールの授業でした。タスクゲーム（パスを活用する課題ゲーム）を取り入れて、指導に当たっていました。ICTを活用しながら、課題解決のポイントを分かりやすく伝えることで、生徒がゲームに意欲的に取り組んでいました。



【参加者の感想から】

- 授業づくりの基本である集団行動が徹底されており、学校における保健体育の役割が十分になされていると感じました。生徒がより安全に意欲的に取り組めるためにも、集団行動、基礎基本の徹底を実践していきたいと思えます。（中学校）
- 場の設定、道具の工夫、そして何より安心・安全な雰囲気づくりがなされていて素晴らしいと思いました。指示が少なくすむように、課題の見える化を図っていることなどが参考になりました。（中学校）

9教科で授業実践をしていただいた学力向上指導員の皆さん、そして熱心に学ぶ姿を見せていただいた生徒の皆さん、ありがとうございました。